



ケーブルネット、Artel SMART ソリューション で Media Over IP に進出

挑戦

ケーブルネットは、キプロスで唯一の独立した代替通信事業者で、ブロードバンド、固定電話、テレビサービスを完全所有のケーブルインフラストラクチャとモバイルネットワークを通じて提供しています。同社は、ブロードバンドとHDTVサービスをサポートする次世代ハイブリッド光ファイバー同軸ネットワークを運営しています。このネットワークを強化するために設計されたプロジェクトでは、ケーブルネットは、コンテンツをネットワークハブとヘッドエンドに届けるために、キプロス全域のスタジアムと2つの遠隔地の制作サイトへのリンクを模索していました。このプロジェクトを機会に、ネットワークにMedia over IPを導入し、将来的にSMPTE ST2022-7の冗長性をオプションとして使用できるようにし、光波長多重通信では損失ベジエットを満たせないスパンでの衛星リンクのコストを回避したいと考えていました。

解決策

ケーブルネットは、新たな拠点へのリンク拡大に加えて、これを機にIPベースのメディア配信にも進出しました。このために、同社はInfinityLinkとFiberLinkメディアトランスポートシステムを追加導入し、ST 2022サポート用にプロビジョニングされたSMART Software Defined Platform、および各種ビデオ・オーバー・ファイバー・カードを使用して、キプロス周辺のパフォス、ラナカ、ニコシア、リマソールのさまざまな場所にある9つのノードを接続しました。

ビデオルーティングとイーサネットスイッチングを統合したInfinityLinkは、スタジオからスタジオへ、またリモートサイトからケーブルネットワークオペレーションセンターへの完全な貢献トランスポートシステムの設計と管理を容易にします。

ケーブルネットはこれまでもFiberLink製品を使用して

成功を収めてきましたが、メディア・オーバー・IPの導入は今回が初となります。コンパクトなFiberLinkシステムはプラグアンドプレイ方式で、設置時に特別な工具や調整が不要です。事実上あらゆるタイプのビデオ、オーディオ、データ信号をサポートする光ファイバ伝送ソリューションは、ケーブルネットの既存ネットワークの地理的な拡大とIPメディア配信の領域への拡大を簡素化しました。

これらのArtelのソリューションは、低リスク、低コストのメディア・オーバー・IPへの道を開きました。ビデオオーバー・IPリンクとデータリンクの両方で、ケーブルネットは将来的にファイル転送や一般的なIPトラフィックのトランスポートを管理しながらメディアをトランスポートすることができます。



結果

「Artel の InfinityLink と FiberLink は、様々なタイプの映像信号に対応できる柔軟性を提供してくれますし、バックボーンで IP スイッチングとネットワークを活用することができ、将来的には ヒットレススイッチングを使用するオプションもあります。Artel の次世代モジュールが既存のシャーシやシステムと下位互換性があるという事実は大きな利点であり、ネットワークをリモートで制御したり監視したりできることで効率が向上することも気に入っています」とケーブルネットの TV システムマネージャー Dionysis Kofos 氏は

述べています。

新たに導入された Artel のソリューションにより、Cablenet は、既存の伝統的なメディア・オーバー・ファイバー配信の実装を、次世代のメディア・オーバー・IP の実装と橋渡しすることが可能になりました。その結果、同社は単一のプラットフォームを使用して、各顧客固有の要件に対応するために異なる技術とワークフローを使用して、様々な場所とリモート生産施設をシームレスかつ費用対効果の高い方法で相互接続することができるようになりました。

図1. ネットワーク全体

